

菊池溪谷に生息する両生類・爬虫類

菊池溪谷は、川と湿った森が共存しているため、サンショウウオやカエルなどの動物にとって理想的な環境である。菊池溪谷に生息する両生類・爬虫類の一部を紹介する。

チクシブチサンショウウオは、溪谷の林床や清流に棲息する。日中は岩陰に潜み、夜間だけ出てきて餌となるワラジムシなどの昆虫を探すため、成魚の目撃例は少ない。夏になると、小川や淵で泳ぎ、水生昆虫を捕らえるサンショウウオの幼生の姿が見られる。

菊池溪谷で最もよく見られるカエルは、黒褐色の**タゴガエル**である。体長 5cm ほどで、川沿いの小さな淵でよく見かける。また、**ニホンヒキガエル**もよく見かけ、体長 18cm にもなる日本最大のカエルだ。遊歩道沿いの水たまりで黒いオタマジャクシが泳いでいるのを見ることができる。**カジカガエル**は、4 月から 7 月の繁殖期にオスがメスを呼ぶために吹く笛のような鳴き声が特徴的。

アカハライモリはトカゲに似た小型のイモリで、川辺の水たまりでくつろぐのが好きだ。腹部が赤黒いのが特徴で、個体によって模様が微妙に異なり、25 年ほどの寿命までほとんど同じ模様が続くという。